
あたしが生きている

羽鳥 芽衣

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あたしが生きている

【Nコード】

N2984Q

【作者名】

羽鳥 芽衣

【あらすじ】

目が覚めた感覚があった。

視界に映った見覚えのない天井。

良くある小説なんかでは、「ここはどこだろう?」なんて下手な台詞があるけど、あたしはわかってたんだ。

ここが病院であること。

きちんと昨夜の出来事はあたしの記憶にある。

目覚めたここが天国でないなら、染みがうつすらついた、もとは真っ白であつたろう天井は、間違いなく病院だ。

隣には、泣き崩れた母の姿も、心配そうに見守る父の姿もなく、ぼんやりとした思考回路のまま、あたしはナースコールも押さずに、再び眠ることにした。

目を開けたら、そこは古びた天井だった。

当時19歳…だった記憶がある。

私は一度死ぬはずだった。

自律神経失調症、摂食障害、DV…、

鬱になり自殺願望にとりつかれ…そして未遂。

生きる意味なんて20歳を超えてからとつくに無くなった。

なにもかも必要が無くなって、何もかもいらなくなった。

立ち上がることにすら困難になったあたしに、

これから生きる意味なんてあるのだろうか。

死ぬことを目標にしか生きられない。

そんな人生は運命なのだろうか。

それでもこうしてまた一日を終えて、

明日を迎えるあたしに降りかかるものは“絶望”だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2984q/>

あたしが生きている

2011年1月26日03時30分発行